

第20回 田川ふれあい文化祭



平成29年11月1日現在	
総世帯数	1,868世帯
総人口	3,740人
男	1,816人
女	1,924人



楽しいイベント盛りだくさん!

待ちに待った「第20回田川ふれあい文化祭」が、10月15日(日)に開催され、小雨が降るあいにくの天候にもかかわらず、400名余りの来場者がありました。

開会式に先立ち、丸ノ内中学校吹奏楽部と田川小学校金管バンドによる演奏が行われ、迫力ある音楽に聞き入りました。

館内では、鉄道模型の展示走行が子どもたちの人気を集めていました。住民



また、屋外テントの販売ブースやあそびの城なども注目を集め、豚汁の提供やお楽しみ抽選会の豪華景品もあって、大満足の日となりました。

(館報編集委員 野本)



このつどいは、「田川地区いきいきサロン」の行事として行われ、昨年につづき2回目の開催となりました。

はじめに「丸の内病院健康教室」として、同院健診センターの森哲夫センター長から「寝たきりにならないために食事と運動と休養、同リハビリセンター健康運動指導士の東良道さんから「10歳若返る身体づくり」をテーマに講演がありました。

催しの後半には、健康づく

田川地区の健康づくりと福祉を学びあう機会として、10月24日(火)、田川公民館で「健康を考える日」が催され、約50名が参加しました。

「健康を考える日」

寝たきりにならないために



り推進員による昔話を下敷きにした寸劇「健康を守るのはだあれ？」桃太郎・金太郎・浦島太郎の場合」の上演や日赤奉仕団田川分団によるOXクイズ、中央西地域包括支援センター職員による紙芝居など、各団体が企画した多彩な発表がつづぎ、楽しく充実した一日になりました。

(渚宮本 相澤 真由美)

田川百景

1986年の航空写真



31年前の田川地区航空写真。

なぎさライフサイトや丸の内病院。そして松本駅アルプス口や田川公民館も無い時代です。現在の「なぎさライフサイト」には当時「マルシメ宝製系(タカラセイシ)」の大きな工場が軒を連ねていたのが印象的でした。

【提供：渚町 齋藤 辰也】



アラフォーのつどい 子ども時代の80年代 にタイムスリップ

9月1日(金) 40歳前後の皆さんが、ノスタルジーに浸る交流会を田川公民館で開催しました。

参加者は、80年代の懐メロをBGMに、ファミリコンピューターをプロジェクターにつなぎ、大画面でスーパーマリオを楽しみました。

「中年となった今、子ども時代に帰ることができ、貴重な機会でした。これからの同世代の人と交流できた



らいいと思います」と実行委員長の岡村龍治さん(渚上)は、手ごたえを感じていました。

(館報編集委員 野本)

男子厨房に入るべし! 男の料理教室

10月26日(木) 田川公民館で「男の料理教室」が開催さ



れ、男性10名が受講しました。食生活改善推進委員(食改さん)7名の指導により、「粉豆腐のそぼろパスタ」など4品目を1時間余りで手際よく(?)作り上げ、全員でおいしくいただきました。

次回の講習会は、より多くの方と楽しみたいものです。

(渚上 宮尾 仁)

「田川百景」募集中
後世に伝えたい田川地区の風景を写真に撮って公民館へお寄せください。